

タイトル (活動概要)	46 トントン名前呼びゲーム	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」⑤ ⑭		
タイミング (実施時期)	学年始め (※)	活動 場所	教室	所要 時間	5分
対象学年	幼・ <input type="checkbox"/> 小低・ <input type="checkbox"/> 小中・ <input type="checkbox"/> 小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	学 級	活動 場面	朝の会
活動の ねらい	<p><背景>群れ合い体験の不足から、新しい友だちをつくるのが苦手な児童が増えている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをすることを通して互いの名前を呼び合い、日常の中で友達どうしが自然に呼び合うことができる ・はっきり伝えることの大切さを知る 				
準 備					
学 習 ・ 活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい気持ちでできるよう、歌ってから始める 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> みんなで楽しく2回手をたたいて友だちの名前を呼び合うゲームをしよう </div>					
2 主活動 ○やり方を知る <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに乗って友達の名前を呼んでいく ・名前を呼ばれたら、返事をして立つ パンパン ○○さん、はい (立つ) 2拍 2拍 2拍 2拍 ・立った人が次の人の名前を呼ぶ ・連続で呼べるようにする ・全員立ち上がったら朝のあいさつをする 		<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの友達とつながることができるよう、あまりかかわったことのない友達の名前を呼ぶように助言する ・めあてをもってできるよう、全員が立ったらみんなであいさつすることを伝える 			
3 ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの感想を発表する 		<ul style="list-style-type: none"> ・あまりかかわったことのない子どもの感想を引き出し、そのよさを伝えるようにする 			
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・(※)実施時期については、学年始めに行うとしているが、年間を通して行くことで学級の文化としていくことも考えられる ・友達関係に偏りがある学級では、かかわりの少ない子どもどうしで呼び合うような工夫をする。例えば、「男子は女子を呼ぶ」「違う列の友達を呼ぶ」「毎日違う友達の名前を呼ぶ」など ・学級みんなで連続記録をつくっていこうとする意欲を喚起するような掲示物を貼る 				